

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成31年 1月15日

協議会名: 今金町地域公共交通確保維持改善協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
有限会社東ハイヤー	予約バス「ルンるん号」 八東・白石地区 金原・豊田地区 日進地区 田代・稲穂地区	<ul style="list-style-type: none"> ・複数名又は団体による一括予約やファックスでの予約を可能とし、より利用しやすい受付体制を整えた。 ・老人クラブ等団体の集会に向いての再周知や広報誌での情報発信を行い利用促進を図った。 	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 直近1年間の利用実績を参考に目標値を設定した。田代・稲穂地区については、運行開始2年目で順調に普及が進んでいる(利用者79人増)。他3地区については日常的に乗車していた利用者の対象地区外への転居や人口減少の要因もあり、目標を下回った。 目標 4,183人/年 実績 2,983人/年(71.3%)	定着が進んできたと思われたが、日常的に乗車していた利用者の減少等の要因により利用実績が減少傾向にあるため、新規利用者の掘り出しに向けて、引き続き広報紙での情報発信やチラシの配布、各地区での情報提供や聞き取り等に取り組み、利用促進を図る。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成31年 1月15日

協議会名:	今金町地域公共交通確保維持改善協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>今金町は北海道渡島半島の北部に位置し、南はユーラップ山系を挟んで八雲町と、北は狩場山系を介して島牧村、東は低い山地を経て長万部町と、西はせたな町と接しており、四方が山岳丘陵に囲まれた内陸地です。(面積568.14 km²)人口5,476人(平成29年11月末現在住民基本台帳)のうち約5分の1が75歳以上の高齢者で、その割合はさらに増えることが予想されており、現在の自家用車中心の地域交通のままでは、今後日常生活において不便になる世帯が増加することが懸念されます。</p> <p>このため、町内の交通不便地域の解消を図ることを目的として、地域間幹線系統(函館バス瀬棚線)に接続する地域内フィーダー系統のデマンドバスを導入し、患者輸送バスやスクールバスの運行も併せて見直しながら、地域の生活交通ネットワークの構築を進めているところです。</p>